

## AIDC Translator Library 1.5

電子タグ・バーコードのエンコード・デコードのための網羅的ソフトウェアライブラリ



電子タグを利用する際には、識別コード等のデータと電子タグの複数メモリバンクに書き込まれるバイナリとを相互に変換する必要があります。しかし、EPCタグ・データ標準及びISO/IEC 15962を実装するのは、手間がかり、かつ間違いを起こしやすいポイントでもあります。この作業に時間をかけてしまえば、製品そのものの品質を改善する時間が取られてしまいます。

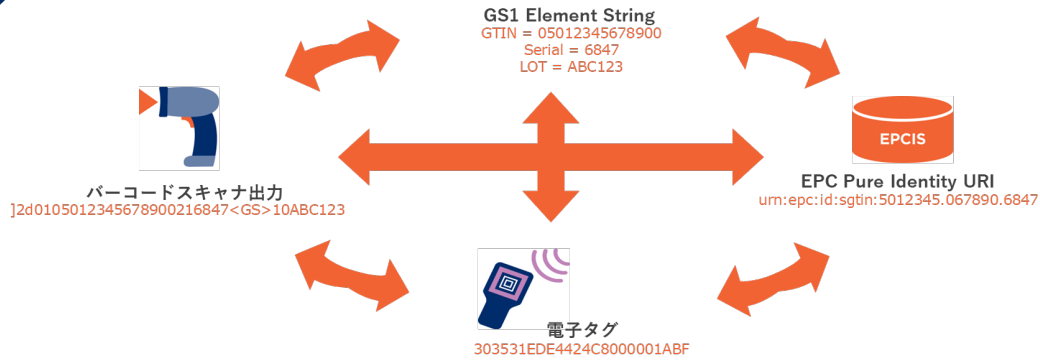
### AIDC Translator Library が変換の手間を代行します

GS1のウェブサイトでは、無料のエンコード・デコードツールが公開されています。AIDC Translator Libraryのライセンス契約を締結することで、この機能をあなたのアプリケーションに組み込むことができます。AIDC Translator Libraryは、電子タグ・バーコード間のデータ変換機能を提供する商用グレードのソフトウェアです。どのようなアプリケーションにも容易に組み込むことのできるようにAPIが設計されており、簡単に動作させることができます。

AIDC Translator Libraryは、個々のデータ表記法に対応する5つのクラスを中心に構成されます。これらのクラスが連携し、ある表記法で表記されたデータを別の表記法に変換します。



これらのクラスを用いることで、例えば、バーコードスキャナの出力を電子タグのEPCバンクに書き込まれるビット列に直接変換することができます。また、複数のアプリケーション識別子に対応する値からなるデータを、Packed Objects圧縮規則に則って簡単にユーザメモリバンクにエンコードすることができます。他にも様々な機能を提供します。



## 容易に組み込み可能

AIDC Translator Library は、Java や Scala などの Java 仮想マシンベースのアプリケーションや、C# や Visual Basic などの .NET ベースのアプリケーションに容易に組み込めるよう設計されています。単一の JAR ファイル及び DLL ファイルとして提供され、これらの開発環境に容易にインポートでき、ソフトウェアに含めることができます。API 仕様書はウェブベースで提供されます。また、組み込みアプリケーション向けに、ANSI C 準拠のソースコードも提供されます。

## テスト済み・充実のサポート

AIDC Translator Library は、リリースのたびに、EPC だけでみても 14000 件のテストケースを含む膨大な単体テストを受けています。特殊なケースが見過ごされていることを心配する必要はありません。年間メンテナンス契約を締結することで、質問や問題に対する速やかなサポートが提供されます。

## 電子タグ・データのエキスパートにより開発

AIDC Translator Library は、EPC タグ・データ標準の最初のエディタの一人であり、かつ最初期の RFID ミドルウェア製品の開発者である、Ken Traub 氏により開発されました。現在は GS1 本部が所有しています。AIDC Translator Library は、GS1 標準に則ったソフトウェア開発を保証します。

## 仕様

### 準拠標準

- GS1 EPC タグ・データ標準 1.11
- ISO/IEC 15962 (Packed Objects) EPC フォーマット

### 以下のデータ表記法をサポート

- GS1 Element String (バーコードで利用)
- EPC Pure Identity URI (EPCIS で利用)
- EPC Tag URI (ALE で利用)
- EPC Raw URI
- EPC Binary Encoding (以下の表記をサポート)
  - バイト単位配列
  - ワード単位配列
  - 16 進数表記による文字列

### 電子タグの全てのメモリバンクをサポート

- EPC メモリバンク
  - EPC タグ・データ標準が定める全 EPC 体系
- User メモリバンク
  - Packed Objects 形式によるエンコード・デコードを完全サポート
  - EPC タグ・データ標準 1.11 及び ISO/IEC 15962 に準拠
  - GS1 の全アプリケーション識別子をサポート
- TID メモリバンク
  - 電子タグ製造者及びモデル
  - 電子タグ製造者内でのシリアル番号
  - 電子タグの機能

## ライセンス形態

- 二種類のライセンス形態により提供
  - エンドユーザライセンス - 個社内での利用を許諾
  - OEM ライセンス - 商用ソフトウェアに組み込むことを許諾
- 費用はライセンス契約締結時のみ (年間費用なし)
- 年間メンテナンス契約 (オプション)

## 連絡先

GS1 本部 (GS1 Global Office ・ 英語)

[helpdesk@gs1.org](mailto:helpdesk@gs1.org)